

平成二十一年三月十九日提出  
質問 第二三四号

前財務大臣のバチカン市国内における行状並びに同行者の対応等に関する再質問主意書

提出者 鈴木宗男

234

前財務大臣のバチカン市国内における行状並びに同行者の対応等に関する再質問主意書

「前回答弁書」（内閣衆質一七一第一四八号）を踏まえ、再質問する。

一 本年二月十三日と十四日、先進七カ国財務相・中央銀行総裁会議（G7）に出席すべくイタリアのローマに滞在した中川昭一前財務大臣が、現地時間で同月十四日十五時過ぎから行われた白川方明日本銀行総裁との共同記者会見（以下、「会見」という。）において呂律が回らず、不明瞭な受け答えをしたとして、同月十七日、財務大臣を辞任した。中川前大臣は、「会見」後バチカン市国を訪れ、同国内のバチカン博物館を見学している。前回質問主意書で、本年二月二十二日付のスポーツニッポン二十三面の、今次の中川前大臣によるバチカン博物館訪問について触れた記事に、「中川氏は触れてはいけぬ美術品に一〜二回、素手で触ったほか、大蛇に襲われるギリシャ神話の登場人物をかたどったラオコオン像の前で柵を越えてしまい、警報のブザーが鳴る騒動を起こした。」との記述があるが、右は事実を反映したもので、今次の中川前大臣によるバチカン博物館訪問の際に、右の様な事態が起きたという事実はあるかと問うたところ、「前回答弁書」では「お尋ねについては、中川前財務大臣からは『体調が悪かったため、見学中に入ってはいけぬ区域に入ってしまったって警報が鳴ったのは事実だ。関係者に迷惑をかけることにな

り申し訳ない。』とのコメントが出されていると承知している。ただし、バチカン博物館から抗議があったとは承知していない。」との答弁がなされているが、右答弁にある中川前大臣のコメントとは、いつ出されたものか。

二 中川前大臣は、本年三月十四日に放送されたテレビ番組において、自身によるバチカン博物館訪問に關し「全く警報機は鳴っていないし、わたしに対する注意もなかった」と述べていると承知するが、政府として右のテレビ番組の内容を承知しているか。

三 二のテレビ番組における中川前大臣の発言は、一の答弁の内容と真つ向から食い違うものであるが、一の答弁は真実を反映しているか。

右質問する。